

地域おこし協力隊 ひらた通信

執筆・デザイン・編集：酒田市地域おこし協力隊 内藤 小容子【平田地域拠点】

復帰しました！改めてよろしくお願いいたします



大変ご無沙汰しております。地域おこし協力隊の内藤です。昨年夏前から体調を崩して休職しており、みなさまには多大なご迷惑とご心配をおかけして申し訳ございません。おかげさまで、ようやく4月から復帰することができました。復帰後すでにお会いできた方々からは、「おかえり」「待ってたよ」「いがったちゃ」など、ありがたいお声かけをいただき、春の訪れとともに心もぽかぽかと温かくなっています。

不在の間も、私の企画したプロジェクトについて、さまざまな方々が活動を継続してくださっていました。とてもありがたいやら企画者として申し訳ないやら…感謝の気持ちでいっぱいです。ほんとで、もっけでした！そこで今回は、私の不在中にみなさまが進めてくださったプロジェクトの活動ダイジェストをご紹介します。約1年ぶりの『地域おこし協力隊 ひらた通信』をお届けいたします。

■ 『庄内SHIBUGAKI隊プロジェクト』 ■

高齢化や過疎化によって管理が難しくなった柿の木等の果樹に放置された実は、ツキノワグマ等の野生動物を人里へ誘引する一因に…。一方、これらは活用されていない地域資源でもあります。そこで企画した「庄内 SHIBUGAKI 隊プロジェクト」。放置柿で柿渋づくりをすることで、未利用の資源を有効活用し、野生動物とも共生できる地域づくりの一助となればと考えています。



中野侯の看板も柿渋で塗り替え！
(写真提供:東陽コミ振)

▼放置果樹等の把握（～昨年8月）・地図化（～昨年10月）

どこに果樹があるかを調査し、行政が把握している鳥獣被害マップと重ね合わせて地図化。まずはプロジェクトメンバーが東陽地区中野侯で実施しました。



柿渋の仕込み
(写真提供:東陽コミ振)

▼未利用柿の摘果・柿渋の仕込み（昨年8月23日）

プロジェクトメンバーが収穫予定のない庄内柿を青いうちに摘果し、ハンマーで潰して柿渋の仕込みを行いました。まずは中野侯で実施。



▼野生鳥獣被害防止対策の集落環境診断（昨年10月16日）

野生動物の専門家を招いて集落を見て歩き、ツキノワグマ等の痕跡、誘因物や侵入経路について、東陽地区の方々自ら調べて回りました。



集落環境診断
(写真提供:東陽コミ振)

▼「ひらた文化祭」に出展（昨年11月6～14日）

プロジェクトの紹介や平田地域での野生動物出没情報、柿渋染め作品等を展示。

▼専門家によるクマ被害対策講演会（昨年11月14日）



講演会
(写真提供:東陽コミ振)

野生動物の専門家：鶴野レイナさん（日本クマネットワーク東北地区代表）による講演会をひらたタウンセンター内シアターOZにて開催。“クマと人間は共生できるのか？クマの人的被害を減らすためには？”というテーマのお話に、平田をはじめ庄内地域からの参加者41名が熱心に耳を傾けました。

【酒田市公益活動支援補助金採択事業】【やまがた社会貢献基金協働助成採択事業（辞退）】

■ 『稲笑循環プロジェクト』 ■

近年は希少になった稲の「杭掛け」や伝承が危ぶまれる「縄ない」等の技術。どこか懐かしく美しい景観や自然資源を循環させる営みを“古くて新しい地域の魅力”として捉え直すため、「稲笑循環プロジェクト」を企画しました。

当初は、手植えによる田植え、稲刈り、杭掛け、脱穀、縄ないなどを通年の参加型イベントとして開催する計画でしたが、コロナ禍で残念ながら多くの方に体験していただくことは断念。一連の工程をプロジェクトメンバーのみで行いました。

▼ 『稲笑米』の販売・おもちのふるまい (昨年 11 月 23 日)



『稲笑米』の販売

(写真提供:東陽コミ振)



もちつき体験

収穫して「杭掛け」で天日乾燥した山形県産品種のもち米「でわのもち」は、東陽地区の「ふるさと祭り」で『稲笑米』として販売されたほか、もちつき体験を通してお祭りの参加者にふるまわれました。



手植えで田植え

杭掛けて天日乾燥

(写真提供:東陽コミ振)



▼ 稲わらリース作り (昨年 12 月 5 日)

稲わらや稲穂を用いて開運リースを作るワークショップを開催 (講師:花のアトリエ・チョコレートコスモス代表 齋藤智子さん)。参加者には“縄ない名人”もいて盛り上がりました。



稲わらリース作り

(写真提供:東陽コミ振)

「旧阿部家」の茅葺き屋根が舞台

命の循環の物語を新作紙芝居に!

一昨年の 10 月、田沢小学校 (昨年度末に閉校) の当時 1・2 年生のみなさんと一緒に「旧阿部家」の茅葺き屋根の葺き替えを見学し、そこで屋根に芽生えたどんぐりの木の赤ちゃんを題材として命の循環について考えました。

このテーマが新作の紙芝居になります!一緒に企画したのは、葺き替え見学からの共同企画者である長船裕紀さん (庄内海岸いきもの調査グループ代表)。物語の制作は、「よねさんの紙芝居」でおなじみの米田佐之助さんです。そして作画は、山形で若手葺き師 (茅葺き職人) として活躍中の荒愛理さんをお願いしました。

昨年 5 月には、よねさんが「録音風物誌」というラジオの長寿番組 (全国ネット) で特集され、その中で新作紙芝居の制作についても取り上げていただきました。

紙芝居『かやぶき屋根とどんぐりーめぐる命のものがたりー』…今年度には、よねさんの庄内弁がたりにてお披露目予定です。お楽しみに!! 【公益信託庄内銀行ふるさと創造基金助成採択事業】



■ さよぼーの想い (編集後記に代えて)

私の不在中もプロジェクト活動を継続してくださった方々のお名前を挙げて、おひとりずつに感謝の気持ちをつづりたかったのですが、とても紙面が足りません。もっけです…。みなさんとの“おもしろ”活動を通じて地域に恩返しができると思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします!



4月11日

十二滝付近のカタクリ

